

8-4-14 砂防・急傾斜専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 砂防・急傾斜専門委員会の開催

専門委員会開催回数：10回

令和6年4月から翌年1月まで月1回の頻度で専門委員会を開催し、本年度検討項目の審議及び技術部会等への報告・連絡等を行った。

(2) 活動の目的

近年、気候変動に伴う集中豪雨の増加や地震の頻発等により、土石流・がけ崩れ・地すべり等の土砂災害が全国的に多発している。令和6年1月1日に発生した能登半島地震では、石川県を中心に456件の土砂災害が発生した。また、令和6年9月20日から的大雨では、能登半島地震被災地を中心に278件の土砂災害が発生した。令和6年の土砂災害発生件数は、45都道府県において1,433件にのぼり、死者56名、行方不明者2名、負傷者11名、家屋被害705戸の被害が生じている。

当専門委員会では、頻発する土砂災害に対する取り組みや砂防業務の課題等を整理検討するとともに、砂防技術の向上を目指し委員会活動を実施した。

(3) 令和6年度の活動

- a) 当専門委員会の活動状況パンフレット（令和5年度版）を作成した（A3版表裏1枚）。
また、パンフレットは会員及び国土交通省・都道府県砂防部局等に配布し、当専門委員会の活動の周知を図った。
- b) 国土交通省砂防部保全課、砂防計画課との意見交換会を10月10日に実施し、砂防関係業務の現状と課題について意見交換を行った。
- c) 第15回砂防現地見学会（8月23日開催）
は、関東地方整備局富士川砂防事務所管内において、国内有数の土砂生産および流出が顕著な雨畑川流域、現在工事中の内河内第五砂防堰堤を対象に実施した。
- d) 令和5年度業務等に関するエラー事例の収集・分析資料を作成し、取りまとめを行った。

品質セミナーは、ビデオ配信で実施した。

- e) 第15回砂防講習会（11月28日開催）は、会場対面参加とリアルタイム Web 配信によるハイブリッド方式にて行った。講師として、国土交通省砂防部保全課 椎葉 秀作課長に「いのちとくらしを守る砂防」、京都大学大学院農学研究科 小杉 賢一郎 教授に「土砂災害の警戒避難について－未経験降雨指数の提案－」、国土交通省砂防部保全課 岩男 忠明 土砂災害対策室長に「能登半島地震の土砂災害の特徴と対策」、（一財）砂防・地すべり技術センター砂防技術総合研究所 嶋 丈示 上席研究員に「土砂・洪水氾濫、無流水溪流、流木対策に求められる砂防施設の要求性能」を講演いただいた。
- f) 砂防研修会は「砂防」「BIM/CIM」「地すべり」「急傾斜地」の4項目をテーマとして101名の参加者を得て8月2日に開催した。
- g) 若手技術者交流会の活動として、立命館大学（10月18日開催）、日本大学（10月24日開催）、神戸大学（10月29日開催）、静岡大学（11月29日開催）の4大学において学生説明会を開催し、合計約370名の学生の参加があった。

2. 次年度の活動について

令和7年度は、砂防部との意見交換会等を踏まえ業務の諸課題を整理し、それらの解決策を提案する。

- ・第16回砂防現地見学会の開催
- ・品質セミナーにおいて、エラー事例の収集・分析、講師派遣を実施
- ・第16回砂防講習会の開催
- ・国土交通省砂防部との意見交換会の開催
- ・令和6年度版活動パンフレットを作成し、会員及び関係機関に配布
- ・若手技術者育成のため、砂防若手技術者との交流会や学生説明会を実施

（砂防・急傾斜専門委員会委員長 後藤 宏二）